津奈木

発行所
津奈木公民館
芦北郡津奈木町
電話（代表3111）
印刷所　旭印刷
電話（水俣）③4101番

楽しい夏休みを

津奈木小学校

夏休みは、家庭生活、社会生活の体験、又、自主的生活態度の育成期間として貴重なものです。親子共、楽しい夏休みになるよう次のことを考えて過しましょう。

一、事故防止

水難、交通、病気、怪我等の事故が絶対起きないように、十分な注意と指導をいたしましょう。

二、家庭生活の体験

家族の一員として、仕事を通し、親子の対話を深め、家庭を愛し、建設していく心を育てましょう。

三、社会生活の体験

旅行やよその家に行くときなど社会生活でのマナーを身につけさせると共に、社会に視野を広める有意義な教育の場にしましょう。

四、自主的生活の体験

一日の生活、毎日の学習計画、やってみたいことの計画等、自主的に計画をたてさせましょう。

九月一日には、全員元気に登校できることを望みます。

有意義な夏休みに

赤崎小学校

長い夏休みを意義あるものにするために、様々な催しを行っています。

○地区懇談会

婦人会館に保護者全員が集まり夏休み中の心得を討議し共通理解を持つようにしています。

○五・六年の校内キャンプ

学級PTAが主催して校庭で行われます。

○水泳

保護者の監視の下に小学校の海水浴場で泳ぐことにしています。

○親子会行事

各地区の親子会で楽しい旅行をしています。

○海洋クラブ

四年以上三十一名の加入者で、カヌー等の練習をしています。

津奈木中学校

夏休みは心身の休養をする期間ですが、個性を伸ばし、自主、自律の生活をする良い機会です。次のことを考えて立派な夏休みが過せるようにして下さい。

一、家族の中での自分のあり方や家族の一員としての役割を自覚させ、実践させて下さい。

二、非行につながる機会が多いので、手を離しても目は離さないようにしましょう。

三、自由研究や読書、不得意教科の復習やまとめを計画的にさせましょう。

四、事故の多発する時期です。「夏休み生活心得」を守り、健康で安全な生活ができるようにしましょう。

非行をなくそう

水難事故 交通事故をなくそう

平国小学校

夏休みは子供にとって最も楽しい時期である。学校から解放されるし自由に時間が使えるのである。有意義にするために普段出来ない事を思う存分やって欲しい。

自然に親しみ、自然の美しさ、不思議さ、恐ろしさを実感としてとらえ、自然を大切にする気持ちを育てる事は大切である。

昨年は親子会でキャンプや旅行に行っているが、一生忘れられない想い出となっている。自然とのふれ合いと共に、さまざまな体験をすることは子供を大きく成長させていく。楽しくて充実した生活をし、二学期の始業式の顔が明るいものであることを望みます。

一言

先日、平国小学校の児童達と会う機会を得た折、私の顔を見るなり「また、今年もキャンプに来てくれるんでしょう。去年は楽しかったもん」と言ってくれた。あの時のたった一夜の事が子供達の心の奥深く刻まれていたとは、それを聞いてとても嬉しかった。

さして野外活動指導など経験もない私でしたが、うまく乗せられてしまい、むしろ自分の方が楽しい思いをしたような、とても教わり上手な素敵な子供達でした。

まず「かたち」よりも「こころ」を大切にしたい。総べての子供達が主役であってほしいと自分が教えて頂いて楽しかったことは、みんなに教えたい気持ちで、そして何よりも人を楽しませるには、まず自分が楽しい顔をしなくてはならないということではないでしょうか。あの時の子供達の笑顔はほんとうにかわいらしかった。

ともすれば、レクリエーションとレジャーが混同されがちな現在、レクリエーションとは、武者小路実篤の「仲よきことは美しきかな」ではないが「仲よくする」ことはグループ活動や諸活動の、究極のねらいであり、よりよい人間関係の醸成にもつながるものだと思います。今年もまた、野外活動の季節がやってきました。どうか児童の皆さん大自然の中で一生忘れられない思い出を残してください。

青年団員　Y生

連合青年団総合優勝!!

第23回芦北郡総合青年祭

優勝した種目

◎陸上競技女子の部　◎陸上競技男子の部
◎バレーボール女子の部　◎柔　道　◎相　撲

去る、七月九日と十日の二日間にわたり、津奈木町総合運動公園を主会場に、第23回芦北郡総合青年祭が開催された。

九日は主に団体種目の競技が行われ、BG体育館で「男子バレーボール大会」

津奈木小体育館で「男女バドミントン大会」

津奈木中体育館で「女子バスケットボール大会」が午後七時からそれぞれの会場で熱戦が展開され、おしくも初日には本町の優勝種目を見ることはできなかった。

翌日は晴天に恵まれ、午前八時三〇分から総合グラウンドで陸上競技大会が開催され、プログラム一番の女子百メートルで本町選手が一位二位を独占する健闘をみせ、幸先の良いスタートを切り、津奈木町の来賓を始め関係者を喜ばせていた。

プログラムも中盤に入り、芦北町に僅差で一歩リードの試合展開が終盤の女子四百メートルリレーと男子スエーデンリレーで共に一位を取り、大きく引き離して陸上競技は男女共優勝した。

また、午後からは津中で「男子バスケットボール大会」BG体育館で「女子バレーボール大会」が行われ、中でも本町女子バレーチームは強敵芦北町に三セット目22対20の接戦で勝ち、続く田浦町には絶妙のレシーブと猛打で21対5 21対3のスコアで楽勝した。

さあ！BGスポーツ大会に向けて猛練習

来る、七月三十一日、夏休みを利用してBGスポーツ九州ブロック大会が鹿児島県串木野海洋センターで開催される。

本大会は、クラブ員の交流と親睦を深め、レクリエーション活動の振興と体力づくり並びに海事思想の普及の目的で九州内センター建設地三十四ヶ所のクラブ員達が参加し熱戦を展開する。今それに向け、本町の小中高海洋クラブ員は、水泳を始め、カヌー・カッターに荒天時を除いたほか毎日、育成士の指導のもとで強化練習に励んでいる。又合せて一般のためのウインドサーフィン教室も実施している。昨年以上の好成績を残そうと参加クラブ員たちは、はりきっている。町民皆さまの御支援をよろしく。

夏休みの想い出づくりは マリンスポーツで

B&G財団津奈木海洋センターでは、7月21日から8月31日までの間に、町内の青少年を対象に別表のとおり、各種海洋性スポーツ教室を開催します。現在、申込受付を海洋センターで行っていますので早目に申し込んで下さい。電話連絡でも結構です。☎四一三八

7月	21～31	●海洋クラブ活動	●B&G全舟艇活用スポーツ活動
	30～31	●B&Gスポーツ九州ブロック大会参加	●B&G財団串木野海洋センターにて開催される九州ブロック大会に各種目参加
	26～30	●カヌー・12ヨット教室小学生コース	●カヌー、12Fヨットの理論と実技(小学生コース)
	27～31	●ウインドサーフィン7月高校生コース	●ウインドサーフィンの理論と実技(高校男子コース)
8月	2～6	●カッター・OPヨット教室小・中学生コース	●カッター、OPディンギーの理論と実技(小・中学生コース)
	7～12	●カッター・OPヨット教室高校生コース	●カッター、OPディンギーの理論と実技(高校生コース)
	6～11	●ウインドサーフィン教室8月高校生コース	●ウインドサーフィンの理論と実技(高校女子コース)
	17～21	●カヌー・12Fヨット教室中学生コース	●カヌー、12Fヨットの理論と実技(中学生コース)
	23～27	●カヌー・12Fヨット教室高校生コース	●カヌー、12ヨットの理論と実技
	2～31	●海洋クラブ活動	●B&G全舟艇活用海洋スポーツ活動

どうぞヨロシク!!

津奈木町体育指導委員紹介

①氏名　②年令　③勤務先　④特技及び資格

昭和五十八年、五十九年度の津奈木町体育指導委員十名が決まりました。体育指導委員は町が主催するスポーツ事業等に対しての企画立案並びに各種スポーツ大会の運営協力それに各種スポーツ競技の指導を行っております。みなさんの地域で或いはグループでスポーツをなさる場合に指導者が必要な時は、いつでも体育指導員がかけつけます。なお、指導依頼につきましては、教育委員会または海洋センター事務局へ御連絡下さい。

①津奈木美孝
②五十二才
③水俣第一小
④庭球、ソフト二種審判

①井山忠行
②四十六才
③自営
④硬式テニス

①鶴野賢二
②四十三才
③芦北高校
④陸上競技一種審判員

①塚本　宏
②三十八才
③津奈木中
④水泳

①山路英樹
②三十四才
③津奈木農協
④ソフト二種審判

①西平久雄
②三十一才
③津奈木農協
④バレーボール二級審判員

①山田　格
②三十一才
③赤崎小
④バレーボール

①本田邦生
②二十九才
③津奈木中
④体操、バレー

①鶴田和彦
②二十九才
③平国小
④卓球

①泉　清治
②二十八才
③津奈木小
④ハンドボール、野球

皆様のご協力を

婦人会運営については、会員の積極的な参加がなければならないことは言うまでもありませんが、それに役員の奉仕的活躍があってこそ、益々充実した運営が出来るものと思います。

元村久美さん、石田ミサ子さんはそれぞれ、支部長とし御尽力をいただきましたが、去る四月婦人会総会の席上その経験を発表されましたので、発表文章をおかりして掲載させていただきました。

尚紙面の都合上、文章の一部を割愛いたしましたことをおことわり申し上げます。

支部長をさせていただいて今思うこと

町中　元村久美

私が支部長の役を与えられましたのは29才の時です。婦人会というものがどんな活動をするのかもよくしらないでスタートしまして、年も一番若いし色々な事に対しても未熟だしどうやって婦人会活動をやっていこうかと色々考えました。その結果〝やる気だ〟素直さとやる気があれば未熟な私にできるのではないかと、自分にいい聞かせ2年間過ごさせていただきました。

幸いにまわりの方がよき先輩方ばかりで、この未熟な私が、我が儘いっぱい、暴言を吐いてもきちんと受けとめて下さって、盛りあげて下さるんです。常会をする時は必ずみんなが腹のそこから笑う事ができる話題を提供致しましてストレス解消に努めてきました。そんな常会があったあくる日は「夕べは楽しかったね、こんどはいつあっとな」と会員さんから言われます。そんな時、ああこれだ婦人会というものはこれでいいんだ、心のふれあいの場をもつ事ができる、これが必要な事ではないでしょうか。

支部長になれば、何かをしなければならない、責任をとらなければいけないと、考えるからなりたくない、できないと皆さんおっしゃるのではないでしょうか。私は支部長というのは、本部との伝達者であって、小使いであると奉仕の精神をもっと、そんなにむつかしいものではないと思います。婦人会というのは奉仕活動ですから、もちろん物資的利益は与えられません、しかし目にみえない授業料を払っても得る事のできない素晴らしい事を色々と学ばせていただきます。阿蘇でおこなわれました青年の家での研修も本当に素晴らしいものでした。学校を卒業して以来の団体生活で見るもの一つ一つが新鮮で、青年の家のまわりに広がる雄大な山々を目の前に、山というのは、緑っていうのはこんなにも、美しいものだろうかと、今更のように感じさせられました。津奈木も山々に囲まれていますのにあらためて、山をじっくりながめることなく、毎日の生活におわれて目先だけを見つめて生活している中で、青年の家での体験は、子供や家庭から解放され、我を見つめる事のできる素晴らしい経験でした。「婦人会にはいってもなんにもならん、でかたばっかし」という声を耳にします。正直いって、私もそう思った時もありました。でも30も過ぎました今考えます事は、なんにもならん、じゃなくて、何かを学ぼうという姿勢に欠けていたと思うんです。どんなにいい道具や環境を与えられてもそれを自分のものにしようという努力がなかったなら、なんにも意味をなさないと思います。

物質的経済に恵まれた現在、心の存在というものを、私達は見失っているのではないでしょうか、婦人会というものは、たしかに物質的利益はなんにもありません、しかし人と人のふれあい、出逢いの場という唯一の財産があると思うんです。このような時代であればこそ私達の婦人会活動っていうものがより必要になってくるのではないでしょうか。

今度役員になられました、さま、いやいやながらされても一年、ようしと意欲を燃やされても一年、どちらが得でしょうか。いやいやながらされたら、その波動はマイナス思考として伝わり、まとまりのないものになるでしょう。意欲を燃やされるとプラス思考となって会員に伝わり活気ある会となるでしょう。

いいじゃないですか、健康で役を引き受ける事ができるという事は本当に幸福な事だと思うんです。

私は子供が事故で入院しました時、一年半病院にくぎづけにされました。外に出たくてもでられないんです。何かしたくてもできないんです、こんな経験をしますとまわりの状況は許しているのに、自分の「したくない」という我が儘だけで色々な事をさけて通るのは本当にぜいたくだと思います。

〝笑う門には福来たる〟という言葉がありますでしょう。一日に43回笑えば、仕事もはかどるし、家庭の中も明るくなるそうですよ これを〝ラフタセラピ〟笑い療法っていうんですけど、笑いのある家庭、笑いのある町を私達の手で作りあげていこうではありませんか。

勉強させていただきました

桜戸　石田ミサ子

昨年の四月に未熟な私が支部長という大役をおおせつかりました。最初はその責務を果たせるだろうかと非常に不安でしたが、自分自身勉強する機会を与えて下さったのだと思い頑張って参りました。

この一年間婦人会では、婦人学級、電気教室、栄養教室など盛り沢山の学習の場が計画され、参加してみますとそれぞれに日常生活に直接かかわりのある有益なものばかりでした。

その中で栄養教室の様子を少しばかり御紹介したいと思います。

料理を作るのがにがてな私は栄養というよりも、楽しみながら料理ができたら、という軽い気持で参加し、この一年間にいろいろな事を教えていただきました。

まず我が家の家族構成を紹介いたしますと、主人と六年生、四年生、幼稚園の三人の息子がおります。ごく最近まで、自分の好きなものはおなかいっぱい食べて嫌い

婦人会に

なものは食べずにお茶漬ですますようなこともありました。

ある時の講習で子供の栄養という事を勉強しました。その日はカラ揚げの甘酢あんかけの料理を習いました、さっそく我が家で作って食べさせると、子供達に大変好評で、魚のあまり好きでなかった三男も喜んで食べてくれました。

肉団子や、ギョウザも習いました。肉の嫌いな長男にも、ひき肉を使ったりして食べさせる工夫をし、今では鶏肉とひき肉だったら食べれるようになりました。嫌いな物がはいっていても、知らず知らずのうちに食べてしまったり、普段と変らない献立も少しの工夫でごちそうに見えたりします。

以前町長さんのお話にもありましたが、この料理は何カロリーとか、ビタミンがどうのこうのと考えるのは作る段階で大切なことであって、あとは家族そろって和気あいあいと楽しく食べるのが一番ではないかと思っています。我が家でもできるだけテレビを消して

こうして習った料理に我家の工夫をこらしていけばおふくろの味として、子供達にいつまでも受けつがれていくのではないかと思っています。これまでも家族みんなの健康を守る立場の主婦として、適当な運動を楽しんだり、好き嫌いをなくすというような努力はしてきたつもりですが、自己流の料理しか知らなかった私が栄養のバランスを考えたり、盛りつけを工夫したりと、より一層充実した食生活を楽しめるようになったのも栄養教室に参加したお陰と感謝しております。

今日は婦人会活動の一部を御紹介いたしましたが、これまでの活動を通して一番の収穫は、たくさんの方と知り合いになれたことです。和気藹々の雰囲気の中で失敗したり、笑いあったりして、充実した時間を持つ事が出来ました。

料理や教室など、何事にも愛情をプラスする事の大事さも学びました。今後もこれらの貴重な経験を家庭生活に生かし、婦人会活動の為にも微力ながらお手伝いしていきたいと思います。

水上村 芦北郡 青年団交歓会

去る六月四日五日の両日、芦北郡青年団と水上村青年団との交歓会を水上村の総合センターでおこない、本町青年団より十五名参加しました。現地に着きましてまず地元青年団との情報交換をやり、そのあと懇親会に移りました。

最初はあまり話もでませんでしたが、焼酎がはいるにつれて話もはずみ、わきあいあいとした楽しい懇親会でした。

翌日はこの交歓会の一番の目的でありました市房山登山の予定でしたが、悪天候のため中止になり非常に残念でした。予定を変更し討論会とレクリエーションを行いました。討論会では、まず四班にわかれて最初分科会を行いそして全体会に移りました。青年団の魅力とはなにかと言うことを話し合い、いろんな意見がでました。レクリエーションではバレーボールやゲームをやりみんな、わきあいあいとなり楽しい交歓会を大成功で終りました。

今度は、芦北の方で水上村青年団だけでなく、球磨郡全体の青年団の仲間にもよびかけて、八月下旬に球磨郡ではやれないような、芦北でしかできないような交歓会をおこないたいと思っています。その時には全団員の参加を期待しています。

阿蘇青年の家研修に参加して

日当　篠原　ハマ子

六月三十日、七月一日の両日阿蘇青年の家での研修に参加し、梅雨時とは思えぬ好天気に恵まれ、雄大な阿蘇の山々を望む事が出来ました。研修は町教育委員会、町連合婦人会主催で行われ、今年は四十八名の参加で皆さんなごやかで立派な研修であった事と思います。

研修には福岡と大分の婦人会と、女子学生の総勢三百六十名でした。男子は僅に十四名、まさに女性だけの集いでした。きび〳〵した、各代表の方の挨拶があり、研修が終った後でもお礼と別れの挨拶をしていただき私達の代表の竹本さんは際立って立派でした。

一日目の研修は「母親の役割」と題して、青少年問題があまりにも新聞や雑誌に記載され過ぎている。もっと大人がしっかりした態度であるべきで、物質が豊富になり過ぎ人間らしい心を持たない情緒不足の子供が増えている。とのお話で、これから先どうなるだろうと不安を感じずにはいられませんでした。二日目の研修は「婦人会活動の進め方」と「リーダーの役割」で相手の話を如何に上手に引出す様、努力する事が大事か、相手の人を見る時、高い尺度で見る事により自分も向上する。一方からばかり見て立派な所を見失ない悪い所ばかり噂にしがちです。自分の心を美しく持ち得るかが大事であるとの話の様でした。

これからは残された日々の中で立派な話を聞き、教えられ生活に生かしていかねばと思っています。

リーダーとしての活動は、生々と働き行動する事、上からの命令でなく、自分が進んでやって見せるべきだとお話下さいました。

親切に教へていただく事は本当に嬉しく有難いものです。研修に参加させて頂き感謝致します。

最後になりましたが教育委員会の上原さん本当に御苦労様でした。

寄贈お礼

斉藤精四郎氏（故斉藤亀齢前町長の嗣子）から、亡母斉藤タメ様の香典がえしとして、図書購入費に御寄贈いただいておりましたが、このたび原色牧野植物大図鑑を購入させていただきました。

昭和五十八年度 団体役員紹介

PTA 津奈木幼稚園

会長　伊藤　亮
副会長　松崎　豊
〃　野崎祐子

文部省海外教育事情視察記(三)

津奈木小　田中正臣

写真説明
レセプション
津奈木の子ども達の作品を贈ったところ、作品の説明がむずかしく困ってしまった。

レセプションの時間

教育事情の日程には、国際親善の意義を考えて、レセプションも計画されていた。

おせわになった人たちへ夕食会を兼ねて案内をしたところ、

「午後九時以降だったらいつでもいいですよ。」

と変な返事があった。事情を確めたところ、この町の人たちは、

「男は、夕食は必ず家庭で済ませる。」とすまし顔であった。

お手本にしなくちゃ。

串焼き

どっぷり暮れた街角に、ハンバーグの広告のある小さな食堂があった。ひもじさに勇気を出してドアを押したら、いかにもドイツ人らしい大柄の美女が笑顔。

「グーテンアーベント。」（こんばんわ）といってくれたみたいだった。

ほっとしてカウンターの材料を見たら、おっとどっこい串焼きがあるではないか。それででっかい串が四本。

「プリーズ、それそれ！」と指さしで注文したら、さっそくレンジで焼いてくれた。

割箸

ビールの酔いで、香ばしいなつかしい匂いにかじりついた。大きいので大へんだ。A先生がたまらずにポケットから割箸を取り出して使いはじめた。私も一本もらって肉をはずした。

カウンターのママさんと隣席の客がふしぎそうにのぞきこんでいるのに気がついた。

「ジャパニーズ・フォーク・アンド・ナイフ。」と説明のつもりで片言を発したら。

「オーオ、」とにっこりうなづいてくれた。

店を出るとき、チップに添えて割箸をプレゼントした。

この店には五晩通い、ママさんやその友達ともすっかり仲よくなり、ビールの味も濃くなった。（終）

写真説明
子ども達が自分たちで遊具の使い方を考える。それを教師の方で充分検討して体力と安全の教育につとめる。

な〜るほど

冷凍食品は解凍法が決め手

解凍法には自然解凍と急速解凍がありますが、どちらも八分ぐらい解凍したところで調理します。八分ぐらいとは、手でさわってシンがかたい程度です。

肉類　冷蔵庫内で

自然解凍
魚介類　冷蔵庫内か流水、ぬるま湯などで自然解凍。
野菜類　包装から凍ったままとり出し、熱湯で急速解凍。多少ゆでるつもりで。
果物類　半分もとった程で食べるのが一番。
加工品　フライ用なら凍ったまま揚げる急速解凍。

育児・就学について 巡回相談にどうぞ

来たる八月十六日、芦北町湯浦福祉センターで幼児などの育児や就学について、医学、教育、福祉の面からそれぞれの状態に応じて保護者に専門的指導助言を行います。

言語障害、難聴、知恵おくれ機能障害、情緒障害、学校ぎらい、非行問題、性的問題、など以上のような心配のある幼児、児童の保護者の方ぜひ、ご相談においで下さい。

指導にあたられる先生は次のとおりです。

一、盲学校、ろう学校及び養護学校の専門教員。
二、県教育庁高等学校教育課特殊教育係及び教育事務所の指導主事。
三、小児科、外科等各専門医師。
四、福祉行政関係担当者及び児童福祉施設長。

以上の方々が、個人面接のうえ相談に当られます。

尚、八月十七日は水俣市老人福祉センターで開催されますので、十六日に都合の悪い方はこちらでも出来ます。現在開催時間は未定ですので、参加ご希望の方は、津奈木町教育委員会えお申込み下さい。後日お知らせ致します。

伸びよう仲ばそう青少年

七月一日から八月三十一日までは夏の青少年育成県民総ぐるみ運動期間です。

健全な家庭づくり。たくましい体づくり。明るい環境づくり。楽しい仲間づくりに努めましょう。

町誌こぼれ話 (2)

眼鏡橋の石材はどこから来たか

石は到る処ゴロゴロしているが、眼鏡橋の石材となると自ら制限がある。軟らかくて細工がやり易いこと。ねばりがあって永もちするもの。もちろん、重盤岩眼鏡橋もこの条件にかなった石で築いてある。

この石と同じ石を津奈木に探すと、泊（舟隠）の石、桜戸の出っ張りの石、重盤岩一帯の石、大迫にもある。これらの石は輝石安山岩といい、右の地以外にもある。

重盤岩の岩は橋にはならぬと思われていたが、現に採った跡が阿蘇神社の後にある。石を割る矢の跡も二ヵ所ある。運搬上の都合からここの石が一番多く使われたのではなかろうか。

生き残りの三平

島津藩は土木事業をまかせられる人物として、その名が聞こえていた三五郎に白矢の矢を立てた。

三五郎は弟の三平の外一族を引きつれて薩摩入りした。

だんだんと仕事の確かさもわかって重用され、「岩永」の姓も貰い、苗字帯刀も許された。しかし、三五郎の上司の重臣が反対派に押されて勢力を失い、反対派から三五郎の生命さえもおびやかされるようになった。

城の壕にかけた十数の橋、甲突川の五橋など戦略的秘密を手がけているからである。

三五郎は危険と察知して、一族のものを一人ずつ郷里に帰しはじめた。弟三平も逃がした。三平は途中、追手に片腕を切られながらも逃げ帰り、肥後に入って津奈木で静養し、お礼にそこで眼鏡橋をかけた。

これが県指定の重盤岩眼鏡橋である。

（岡松　壮）

▲眼鏡橋の石をとったと思われる跡

▲指で示している所に石をわるための矢の跡がある

はたけのなるこ (二)

あくる日のごじはんに、ガタンガタンチンチン二羽にげました。そして、三十米先のやぶの木に止まっていたカラスも二十羽くらいいっせいにげました。そのあくる日もガタンガタンチンチンの音に一羽にげました。また、さきのやぶの木から二、三十羽いっせいにげました。

おばさんはおもいました。

ああ一番に一羽ていさつカラスがきて、たべて大丈夫だよ早く早く、おいしいよと、やぶの仲間におしえよう、と思っているとき、ガタンガタンチンチンとカラスの耳がやぶけそうな音がして、おうたいへんだっ、こわいぞ、こわいぞみんな早くにげろというので、やぶの木で知らせをまっているカラスたちも、たいへんだたいへんだと海の方にげるのです。

何日も一番に一、二羽きて、やぶの上でたくさんになってとんでにげました。おばさんはたいそう早おきになりました。はしらにしっかりゆわえつけてあるつなを、カエルがとび上がるようにしてぶらさがってゆするおばさんを、おじさんが笑い、おとなりのおばあちゃんがつえをついてあさ早く見にきて笑います。

おばあちゃんがゆすりました。大きなこえでこれは面白いと笑いました。かわるがわるみんなゆすって笑います。これは面白い〃こどもの日〃のようだといいます。

カラスはうらめしそうにうみべのでんちゅうにとまってふしぎそう。あのこわい音はいったい何だろう。ビワのみはおいしそうに、こがねいろになったのに耳がやぶけそうでざんねんです。おわ。

童話

佐々木しずえ作

肥後狂句　堀双岳選

着順
妙な癖　かねて佛で呑めば鬼
その通り　公約実行して見せろ　笹岳

妙な癖　酒呑うだならすぐ出さす
その通り　やれと親父がけしかくる　雲波

妙な癖　いっそ鉢巻ァはずしなし
その通り　立派な意見言いなはる　白波

妙な癖　鼻糞まるめスッペ弾
その通り　親の振り見て子がまねる　拙者

妙な癖　ひッ傾いて歩きおる
その通り　ちゃんと私が見とった　双岳

妙な癖　言わんちゃよかこつきゃ
言うて
その通り　ああたが一番エラカ人　平国

（次の笠）

夜中八丁。断わる。一笠二句宛八月十五日まで、公民館へ。初心者も御遠慮なく投稿願います。

俳句

五月雨や竹の子畠のどまん中
鎧武者の組討ち見たりかぶと虫　鳥居　保

川床の石あらたなり梅雨洪水
くちなしの花の白さやさつきあめ　星光

梅雨晴れの森のかなたに杜鵑啼く
五月雨にさくやくちなしあざやかに　真代

短歌　小嶋正弘選

ま白なるかすみ草の中におさまりて　うす紅のバラのたしかさ

退院の人が残せし蝴蝶蘭　主なきままに甘く香るも　白浜　美和子

巣立ちたる子雀庭木に来て鳴けばそばをめぐりて親鳥の鳴く

ふるぶみの中に見出し亡き父の吾にあてたる手紙なつかし　鳥居　保

田も畑もれんげなたねの花ざかり春風かおる田圃路ゆく

風に舞う白き花弁か海鳥は養殖場の上にむれとぶ　柳迫　いづも

ひたむきにもえてはかなくむかしごと何故絶てぬ年経りてなお

今ははや面影香き初恋に埋れ火のごとのこるぬくもり　村本　純子

盆踊りのゆかたほしがる孫のためさみだれききつ針はこぶなり

梅雨暗し心も昏し愛犬のなきがらだきて涙こぼるる　片桐　真代

いかずちはおどろに鳴りて雲ひくし、梅雨も末期のあら雨がふる

辛からむ夜は泥のごと眼るらん老農ひとり田掻くを見れば　小嶋　正弘